Panasonic

SmartArchi

取扱説明書

保管用

（一般屋内用）　品番　FYY24030　FYY24035

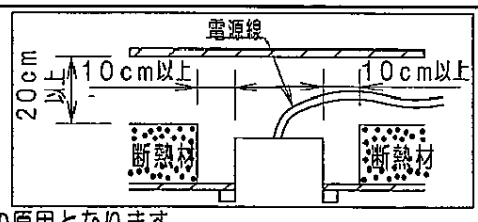
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

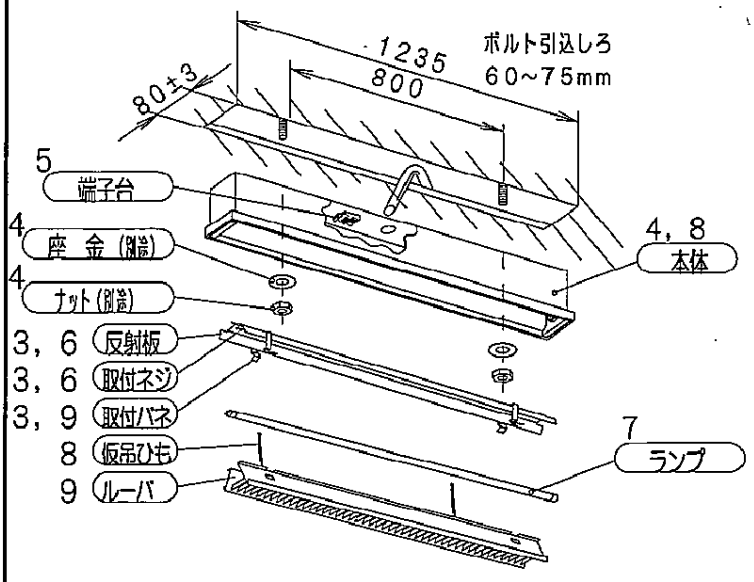
- 施工は、取付方法にしたがい確実に行う。
  施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。　火災の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。
  落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6％）・周波数以外の電源で使用しない。　感電・火災の原因となります。



⚠注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
  落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では、使用しないでください。ちらつきや短寿命の原因となります。

各部のなまえと取付けかた



1 取付前の確認

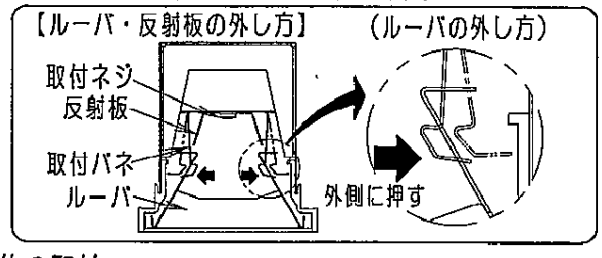
・器具質量（4．2kg：FYY24030の場合）に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
取付ボルトは、W3／8又はM10を使用する。
・ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開口

・埋込穴、取付ボルトを図の様に用意しておく。

3 ルーバ・反射板を外す

・取付バネを外側に押してルーバを外す。
・取付ネジ（2ヶ所）を外し、反射板を外す。

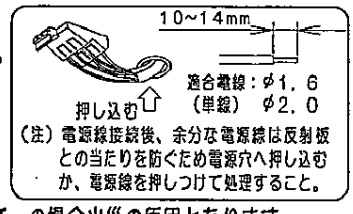


4 本体の取付

・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・内部配線を傷付けないように取付ける。
・本体を取付ボルトに確実に取付ける。（推奨トルク：0．8N・m）
（締め過ぎると器具・天井材が変形・破損する場合があります。）
不備があると器具
落下・感電の原因となります。

5 電源線の接続

・電源線を確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事が必要。
・端子台の容量は、20Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合火災の原因となります。



（注）電源線接続後、余分な電源線は反射板との当たりを防ぐため電源穴へ押し込むか、電源線を押しつけて処理すること。

6 反射板の取付

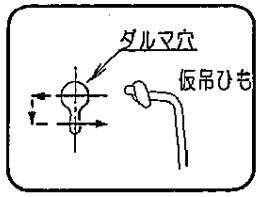
・取付ネジで反射板を確実に取付ける。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

7 ランプを確実に取付ける

取付が不完全な場合、ランプ落下の原因となります。

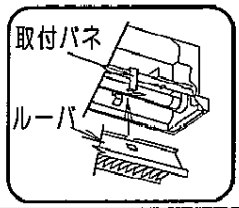
8 仮吊ひもの取付

・仮吊ひもを本体側面のダルマ穴に引っ掛ける。
取付が不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。



9 ルーバの取付

・バネにルーバを押し込み確実に取付ける。
・ルーバ取付後下に引き下げ、確実に取付いていることを確認してください。
取付が不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。



取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
  そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して※１０年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。
  点検・交換してください。
  ※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- １年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
  点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
事前に確認し、対策を講じてください。

保証について

・保証について　この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。
ランプ・グロー点灯管・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

・保証書について　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れ・ランプ交換 ⚠注意（必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります。）

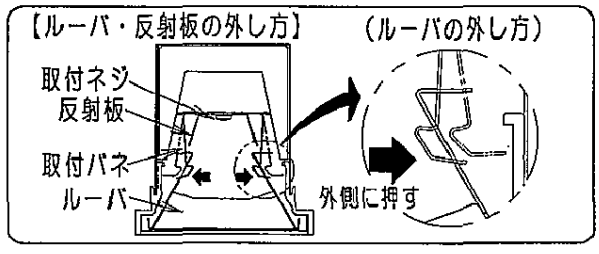
・器具の清掃について　・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
・変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

・ランプ交換について　・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。

（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください）

交換部品	Ｈｆ蛍光ランプ	ＦＨＦ３２ＥＸ

1. ルーバを取りはずす。（右図参照ください。）
2. 使用済みランプを取りはずす。
3. 新しいランプをソケットに差込む。
4. ランプを９０°回転させる。
5. ルーバを取付ける。
   取付が不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。



パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571－8686　大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120－878－365（フリーダイヤル）　0120－878－236（FAX）
MN0206-020112